

①二次審査(技術提案書に基づくプレゼンテーション)

評価者氏名: _____

部会

審査項目	評価対象物	No.	審査対象	方針	配点	審査内容	評価			
3. 技術提案書	技術提案書 (任意様式)	3 - 1	業務実施方針	業務の目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	10		A	B	C	
		3 - 2	業務体制	必要な技術者配置がされているかを評価する。	10		A	B	C	
		3 - 3	業務工程 業務フロー	業務手順や工程計画の妥当性が高い場合には優位に評価する。	10		A	B	C	
		3 - 4	業務内容	業務目的・内容の理解がなされているかを評価する。	20		A	B	C	
		3 - 5	システム基本機能	既存台帳システムも充足して、維持管理システムとして妥当性の高いシステム構成を評価する。	10		A	B	C	
		3 - 6	システム業務支援機能	管路施設	管路施設の敷設状況が容易に確認/更新できる機能を評価する。	10		A	B	C
		3 - 7		排水設備	排水設備の普及状況が一目でわかり、水洗化促進につながる機能を評価する。	10		A	B	C
		3 - 8		履歴管理	修繕の更新履歴等の蓄積が一目でわかる内容を評価する	10		A	B	C
		3 - 9	長寿命化支援	本市のストックマネジメント向上に役立つ内容を評価する	10		A	B	C	

		3 - 10	苦情要望処理 支援	現地調査端末との連携及び システム機能性に優れている 内容を評価する。	10			A	B	C
		3 - 11	施設点検支援	施設点検された情報が適切 に管理できる内容を評価す る。	10			A	B	C
		3 - 12	システム運用・保守	セキュリティ、導入後の運用・ 保守について評価	10			A	B	C
		3 - 13	将来性	システム構築後の運用につ いて、将来性を見据えたシス テム構築が出来ている	10			A	B	C
		3 - 14	独自提案 (その他)	仕様書で書ききれない魅力 的な独自提案を評価する。	20			A	B	C
		3 - 15	技術提案書総合評価	技術提案書について、総合的 に評価する。	20			A	B	C

②二次審査(技術提案書に基づくプレゼンテーション)

評価者氏名: _____

部会

審査項目	評価対象物	No.	審査対象	審査基準	配点	審査内容	評価		
5. プレゼンテーション	プレゼンテーション	5 - 1	総合評価	ヒアリングの内容・印象を総合的に評価する。	10		A	B	C
		5 - 2	提案力	業務に有効な対案の実施を評価する。	10		A	B	C
		5 - 3	将来性	提案するシステムの拡張性、将来性を評価する。	10		A	B	C

配点210点

評価点 / 210点 × 40 = プレゼンテーション・技術提案による評価点

	点
--	---

【価格点審査】

配点30点

費用	見積書 保守運用費見積	4 - 1	本業務の見積書額	見積額を評価する。		
		4 - 2	次年度以降システム運用保守見積	保守運用額を評価する。		
		4 - 3	見積内訳書			

	点
--	---